

令和6年8月31日

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第92回（通算第171回）定例会 会議録

- ◆日時：令和6年8月20日（火） PM7：00～8：00
- ◆場所：田辺市医師会館 3F 大講堂
- ◆出席者：19名 + オンライン 8名
別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：00～20：00】

19：00～ 開 会

19：00～19：45 研 修
2024年度介護保険制度改正による「介護情報基盤の整備」の施行と
医療介護連携
～田辺圏域の2040年問題を踏まえて～
講師：東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科
教授 高野 龍昭 先生

19：45～20：00 質疑応答

20：00 閉 会

【講義内容】

●介護保険制度の「課題」の構造

- ・「財源のひっ迫」「要介護高齢者の増加」「介護人材の確保」が相互に関係しているが、そこに「人口構造の変化（2040年問題）」が関与する
- ・要介護者等の推計（2021-2040）
全国的には増加するが和歌山県全体としては、ほぼ横ばい。ただ、田辺圏域では、上富田町は増加するが、それ以外は減少する。

市町	増加率	市町	増加率	市町	増加率
田辺市	96.9%	みなべ町	97.5%	白浜町	97.4%
上富田町	117.7%	すさみ町	90.4%		

- ・年齢が高くなるほど一人当たり介護費用や医療費は増加する。
- ・2020～2050年の田辺圏域の後期高齢者増加率をみると、上富田町はまだ増加する。

市町	指数	市町	指数	市町	指数
田辺市	105.3	みなべ町	108.2	白浜町	99.4
上富田町	159.2	すさみ町	62.8		

- ・生産年齢人口の推計を見ると、上富田町ですら減少が予想されている。

市町	指数	市町	指数	市町	指数
田辺市	47.9	みなべ町	46.6	白浜町	51.2
上富田町	68.1	すさみ町	37.5		

- ・生産年齢人口は徐々に減少するが、介護職員の必要数は増加する。和歌山県の必要増加数は全国で下から2番目で101.1%。最下位は福井県で、93.5%だが、生産年齢人口の減少を踏まえて推計すると、139.2%必要となる。和歌山県は従来から介護の仕事を選んでいる人が多い！それをさらに拡大しなければ、高齢者介護が成り立たなくなる！
- ・介護DXの推進。「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」における介護保険制度に関係する主な改正事項
 - ① 介護情報基盤の整備
 - ② 介護サービス事業者の財務状況等の見える化
 - ③ 介護サービス事業所等における生産性の向上に資する取り組みにかかる努力義務
 - ④ 看護小規模多機能型居宅介護のサービス内容の明確化
 - ⑤ 地域包括支援センターの体制整備等

- ・まとめ（介護保険制度の行方）

短期的（2026年度まで）にはさほど大きな見直しは行われな

ただし、2027年度の介護報酬の改定は、データヘルス改革（LIFE利活用）、生産性向上（ICT/DX化：介護人材確保の一環）・自立支援重度化防止といった動きにあわせ、大きな改革が予測される。

とりわけデータヘルス改革については、政府の「本気度」がうかがえ、事業者・従事者としてこれに乗り遅れることは致命的となる

「地域共生社会の構築」に関し、重層的支援体制整備事業への対応の重要性が増すケアマネジメントの利用者負担導入、2割負担層の拡大、総合事業の拡大（保険給付の縮小）などの「給付と負担」の議論は進むと思われる。

中長期的には、介護・医療に関する「新たな国民負担」の政策的議論が起こらない限り、「給付（の縮小）」と「負担（の拡大）」の方向で見直しが進むと考えられる。

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和6年9月17日（火） 午後7時～

場所：田辺市医師会館 3F 大講堂

内容：災害時の保健医療福祉調整本部について

講師：田辺保健所